

令和2年度 「アジア情報関係機関懇談会」

韓国の企業経営研究に必要な情報の収集方法、
およびアジア情報関係機関に期待すべき役割
について

2021年2月5日（金）

主催：国立国会図書館関西館

オンライン形式による開催

下関市立大学

中川圭輔

本日の内容

1. 報告者の簡単な紹介
2. 研究の上で使用するサイトについて
3. 事例（本学学生、本学附属図書館）
4. 情報発信機関への若干の提言－現状編
5. 情報発信機関への若干の提言－未来編

報告者の簡単な紹介

- ・ 専攻：経営学
- ・ 分野：企業倫理の日韓比較（当初は日中比較を企図）

- ・ 指導教員とは異なる研究対象国を選択

⇒このため、研究を進める上では、**自身で一から情報源の開拓が必要**だった。

⇒そこで、大いに役立った（助けていただいた）のが、国立国会図書館の「アジア情報の調べ案内」や「AsiaLinks」、アジア経済研究所図書館の「地域別資料ガイド」といった情報提供サイト。

研究の上で使用するサイトについて

《日本語論文》

- NDL-OPACやCiNii、Webcat Plus、Googleスカラー等

《韓国語論文》

- KERIS（韓国教育学術情報院）が提供するRISS（一部無償有）
- KCI（韓国学術誌検索引用）⇒「公開論文検索」の活用（一部閲覧可）
- KISS（Korean studies Information Service System）
⇒検索結果は、国会図書館経由で入手可
- 韓国中央図書館 ⇒ 検索結果の一部は、駐日韓国文化院で閲覧可
- Dbpia ⇒ 検索のみで時々使用
- その他、GoogleスカラーやNaver、Daum等の検索サイトを活用

研究の上で使用するサイトについて

《日本語書籍》

- Amazonを中心に、紀伊国屋やジュンク堂などの大型書店のサイトで検索

《韓国語書籍》

- 教保文庫を中心に、永豊文庫、アラジン、YES24、韓国国会図書館、韓国中央図書館で検索

《英語書籍》

- 極東書店、紀伊国屋の洋書検索サイト

研究の上で使用するサイトについて

《公的機関のサイト》

- 企画財政部 ⇒ 『経済白書』
- 産業通商資源部 ⇒ 『産業通信資源白書』
- 雇用労働部 ⇒ 労働統計や法令情報
- 統計庁のKOSIS（国家統計ポータル）や韓国銀行のECOS（経済統計システム） ⇒ 各種の統計情報
- その他、全国経済人連合会、大韓商工会議所、公正取引委員会、韓国取引所のほか、政府系シンクタンクのKDI（韓国開発研究院）、KIEP（対外経済政策研究院）、KLI（韓国労働研究院）等で調査資料を入手

研究の上で使用するサイトについて

《民間機関のサイト》

- SERI（サムスン経済研究所）
- HRI（現代経済研究院）
- LGERL（LG経済研究院）
- HERI（ハンギョレ経済社会研究院）

- その他、参与連帯、経済改革連帯、経済正義実践市民連合などの市民団体のサイト

研究の上で使用するサイトについて

- 企業経営関連のサイトとして . . .
- KEF（経総プラザ、旧韓国経営者総協会）
- 韓国上場会社協議会
- KPC（韓国生産性本部）
- KMA（韓国能率協会）
- KIS report（NICE評価情報）
- DART（金融監督院企業情報）
- KITA（韓国貿易協会）
- KOTRA（大韓貿易投資振興公社）
- 재벌닷컴（財閥ドットコム）
- 自由企業院 など

研究の上で使用するサイトについて

《世論調査》

- 韓国ギャロップ、リアルメーター

《各種新聞》

- 韓国言論財団の新聞データベース
(BIGKinds) と各社のホームページ
- 中央日報、朝鮮日報、東亜日報、毎日経済新聞、
韓国経済新聞、聯合ニュースなど

研究の上で使用するサイトについて

《経営系の学会サイト》

- 韓国企業経営学会、韓国経営科学会
- 韓国経営学会、韓国経営教育学会
- 韓国経営史学会、韓国経営情報学会
- 韓国国際経営学会、韓国経営倫理学会
- 韓日経商学会、大韓経営学会など

⇒学会のHPで論文を全文公開している例も有。

大学生2名の事例－A氏

- 2020年3月卒業、在学中に1年間の韓国留学経験有
- 韓国語能力試験6級（最上級）に合格
- 卒論のテーマは「サムスンの経営」

《卒論作成を通して、閲覧したサイト》

- 日本語の記事はGoogle、韓国語の記事はNAVERを使用
- Google BooksというアプリでIoTに関する韓国の書籍を購入
- 韓国人の投資家が配信しているサムスン電子の現状などが含まれた内容のYouTubeも視聴
- 「アジア情報の調べ案内」や「AsiaLinks」、「地域別資料ガイド」などのサイトの存在は初耳だった。
- もっと無償で韓国語の論文が読めるサイトがあるとよい。韓国語の論文を読もうとすると、どうしても課金が必要となる。

大学生2名の事例－B氏

- 4年生、国内で韓国語を勉強し、本学のスピーチ大会でも最優秀賞を受賞。韓国語能力試験4級に合格した後、2020年2月末より釜山へ留学（2021年1月に帰国）
- 卒論のテーマは「韓国のコンビニ経営」

《卒論作成を通して、閲覧したサイト》

- Wikipedia（①きっかけを探すため、②まとめてあるリンクが便利のため。ただし、参考文献には挙げない。）
- 会社ホームページ（韓国版）
- 総合ニュース（韓国版・日本版）
- KOSIS（正確な人口などを調べるため）
- その他、日本のニュースも適宜参考に使っている。

本学の附属図書館の事例

図書館職員C氏

- 「国立国会図書館オンライン」について、本学では認知されておらず、検索でもほぼ使用せずの状態。あくまでCiNiiがメイン。図書館職員がレファレンスで検索補助をするときも、まずCiNiiを使う。この他、新聞課題の提出のため、聞蔵-IIの使用も多い。
- また、本学図書館のHP上にある「図書・情報検索リンク集」もほぼ活用されておらず。
- 検索について相談があった場合は、①本学図書館のOPAC ②CiNii ③国会図書館オンライン ④国会図書館「リサーチ・ナビ」の順（「リサーチ・ナビ」は奥の手としての位置づけ）。
- 図書館のホームページの検索サイトのリンクを辿っていくより、Googleなどの検索エンジンを利用したほうが、ピンポイントで目的の情報に触れることができる。今の学生はそういう直線的な検索になれている世代。スムーズな方法だが、検索にあそびがなく、モレがある可能性もある。ネット検索に慣れている世代でも論文の執筆など網羅的に調べるときの情報検索には支援が必要。

本学附属図書館のトップページ



下関市立大学附属図書館
Shimonoseki City University Library

2021.1.22更新



- 館長挨拶
- 附属図書館案内
- 開館時間・休館日
- 利用案内
- 一般公開について
- 資料を探す
- 蔵書検索(OPAC)
- 山口県大学共同リポジトリ「維新」
- Webcat Plus
- 国立国会図書館
- リンク集
- 図書・情報検索
- 学内専用
 - Myポータル
 - Myポータルマニュアル[PDF:1627KB]
 - 電子ジャーナル
 - CiNii Articles
 - CiNii Books
 - KAKEN
 - IRDB

お知らせ
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、学外の方は図書館の利用をお控えください。

- ▶ 郵送等による図書の返却について【学内者のみ】[PDF:197KB]
- ▶ R2年秋学期からの図書館利用について【学内者のみ】[PDF:779KB]
- ▶ 授業・自習等でコンピュータ実習室を利用するためのID及びパスワードを忘れた方は、附属図書館2階カウンターで再発行します。手続きには学生証が必要です。
- ▶ 学術論文・デジタル資料の探し方について[PDF:833KB]

トピックス

- ▶ 図書館の利用方法 [PDF:4357KB] [2020.8.18]
- ▶ 下関市立大学附属図書館公式Twitter運用開始のお知らせ [PDF:469KB] [2020.7.2]

[トピックス一覧]

蔵書検索
本学附属図書館の蔵書検索
蔵書検索(OPAC)
新規(1ヶ月以内)受入図書一覧
新着図書一覧

開館日・休館日

2021年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

◆休館日は赤
◆開館時間
■ 10:00～16:30

附属図書館公式Twitter
Follow @Lib scu

BOOK HUNTING

📖 ラインナップ 📖

— 学生選書コーナー本のご紹介 —

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/library/>

1年次向け図書館ツアーの内容



下関市立大学附属図書館のご案内

□開館時間 平日(授業期間) 9:00~21:30
平日(休業期間) 9:00~17:00
土曜日・日曜日 9:30~17:00

こちらは通常開館時です。
詳細は図書館カレンダーか
Twitterでご確認ください

□休館日 館内整理日(毎月1日:1日が土日祝日の場合は、翌日以降)
祝日、大学祭、大学入試関連の指定した期間、年末年始など、
詳しくは下関市立大学附属図書館ホームページにてご確認ください。
<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/library/>

下関市立大学附属図書館 〒751-8510 下関市大学町 2-1-1 TEL083-252-1211

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/library/images/2020lib.pdf>

情報の発信者側と受信者側の問題

- **そもそも情報源自体の存在を知らない人が多い。**

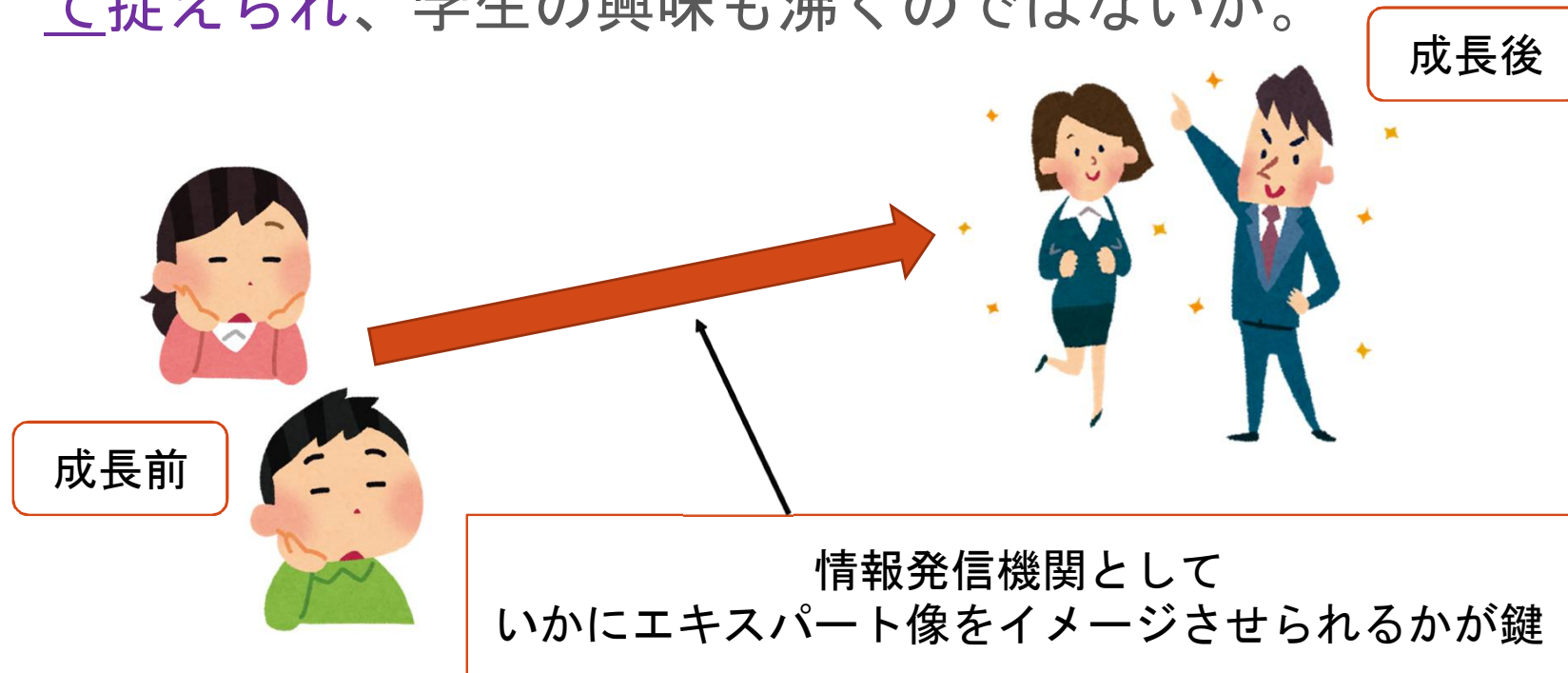
⇒ならば、各大学の初年次向けの図書館ツアーにおいて、国会図書館やアジ研の情報源をもっとレクチャーしてもらおう（例：リーフレットの配布）。

ただし・・・図書館職員C氏によると

- これをしても**おそらく興味をもつ学生は僅少**ではないか。初年次学生は図書館ツアーの内容自体を覚えていない。授業内で課題が出てはじめて、図書館の門をくぐるのではないか。むしろ、授業に慣れてきた時期（3年次あたり）に**情報源や検索方法を知る方が自分事としてとらえられ、効果的**かもしれない。

情報発信機関への若干の提言－現状編

- 情報が溢れる時代にあって、単に情報の探索支援として称して、一方的に情報を提示するだけでは限界がある。
- 情報のありかを示すだけでなく、この情報を使いこなせばアジア地域のエキスパートになれますといった個人の成長過程（物語：ストーリー）が示せれば、自分事として捉えられ、学生の興味も沸くのではないか。



情報発信機関への若干の提言－現状編

- 今の大学生に「アジア情報の調べ案内」のような検索サイトをただ提示するだけでは興味を持たない可能性が高いと思われる。
- そこで、一部でよいので、「アジア情報の調べ案内」を使った実際の検索プロセスをYouTubeなどの動画で配信してはどうか。
- 換言すれば、**自分事として捉えてもらうために、動画配信を通して自分の成長過程（アジアのエキスパートへの道）をイメージしてもらう。**
- 実は、本学も学内の行事の一部を動画配信している（ナレーションは学生による）。
- 「自分も大学生になったらこんな場で活躍してみたい」というイメージを抱いてもらうための一助となっているのではないか。

2020年度は コロナ禍で図書館に大幅な利用制限

《春学期》

⇒閲覧室の利用一切不可（事前予約貸出サービスのみ提供）



《秋学期》

⇒入館時はマスク着用、手指アルコール&検温の実施

- 資料の閲覧・自習が可になった。
- 二部制の導入（一部：10時～13時、2部：14時～16時半）

※13時と14時の間は、消毒作業で全員一時退館

※各部で上限60名まで（オーバーすると入館できない）

http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/library/images/20201009_lib.pdf

情報発信機関への若干の提言－未来編

総務省動画チャンネル

「Connect future～5Gでつながる世界～」を参照

<https://www.youtube.com/watch?v=ArRWXopUHAQ>

《5G技術の活用》

- ・ 自動車の自動運転のシーンより



「この景色に合う曲に変えて～」 「わかりました」

⇒ここから発想を得て・・・



例えば、「韓国の財閥について調べて！」とAIスピーカーに話しかける。すると、自動的に情報収集をしてくれる。その上で、論文になりそうな興味深いテーマをいくつか提示してくれる（料理のレシピを紹介してくれるイメージ）。

情報発信機関への若干の提言－未来編

《5G技術の活用》

- ・ ドローンによる農薬散布のシーンより

⇒ここから発想を得て・・・

図書館のネットの画面からボタン一つで借りたい本をいくつか選定。それらをドローンが届けてくれる。



- ・ 外国人と会話する際の自動翻訳シーンより

⇒ここから発想を得て・・・

専用の端末機械を操作するだけで、洋書を自動翻訳してくれる（英語だけでなく世界のあらゆる言語に対応）。これにより、言語の障壁が一気になくなる。



情報発信機関への若干の提言－未来編

《5G技術の活用》

- ・ 遠隔診療と空間共有のシーンより



⇒ここから発想を得て・・・



情報発信機関の担当者とAR（拡張現実）を通して瞬時に相談ができる（情報検索はAIの役割とし、マンパワーはヒト対ヒトの相談に充てる）。

特に、地域別の専門家と直接相談できる体制を整える（料理研究家に料理の向上を相談するイメージ）。

一対一の相談で行き詰まったら、別の情報発信機関の担当者に声をかけ、ARを通じて同席してもらう。

情報発信機関への若干の提言－未来編

未来編に関する追記

(本学の図書館職員C氏 談)

《AIスピーカーについて》

- テーマの情報収集に際してノイズが入るのを防ぐため、あらかじめ調べたいサイトを「お気に入り」に登録しておき、その範囲内でAIに検索してもらう。これにより、効率的な検索が可能。

《自動翻訳について》

- ISBNをバーコードで読み取るだけで、洋書が一冊丸々翻訳される。

《空間共有について》

- 「レフェラルサービス」の延長上として、実現できるのでは？

ご清聴ありがとうございました。